

学校生活の再開にあたって

清泉小学校

校長 大西 貞弘

新型コロナウイルスの感染拡大が以前より落ち着きを見せ、社会活動の再開が取り上げられるようになりました。学校生活についても、再開の指示が政府や地域行政から出され、5月末からその準備に入りました。いよいよ、子どもたちとの日々が始まるのだと思うと、嬉しく思います。この数か月間、外出自粛の中、学びを継続させてきた一人ひとりの子どもの頑張りをほめてあげたいと思います。もちろん、いろいろな失敗もあったことでしょう、それらから学ぶことも多いかもしれません。私たち教師は、そんな子どもたちに寄り添い、その頑張りや反省に耳を傾け、これからの生活に生かしていくよう、あたたかい指導に専念していきたいと思います。

感染のリスクがなくなったわけではありませんから、学校生活も十分な対策を講じたうえで、徐々に段階を踏みながら始めていくことになりました。電車やバスなどの交通機関の混雑を心配するため、通常のスクールバスや電車を使った登下校方法の他に、自家用車利用の登下校を可能にして対処していきます。校内の生活についても、手洗いやうがいは勿論のこと、3密を避ける形で授業を実施していきます。クラスを半分ずつにした分散登校で、短縮授業の形態で行いますが、社会的状況をよく見ながら、通常の学校生活に戻していく予定です。休校中に行ってきた家庭配信の授業や指導、具体的にはYouTube動画配信、ロイロノートを活用した双方向指導、Zoom ミーティングで朝礼を実施したりしてきた経験を、今後はさらにバージョンアップさせながら、緊急時の学校活動に生かせるよう整備していくつもりです。

学校に、子どもたちの元気な声が響く日がやってきます。学校が生き生きとした場所になる日が戻ってきます。喜びと期待の中で、清泉らしい学びが再スタートします。

